

科目名	観光研究ゼミナールⅠ	科目コード	1233	単位数	2
担当者名	島津 望	開講セメスター	第4セメスター	開講年次	2年次
授業の方法	演習	実務経験	無		

- 授業のねらい
- 地域再生の産業構築について学び、地域再生の産業構築について学び、インバウンド観光等の特需に頼らない、自立した地域産業（観光産業を含む）の作り方について考える。
- ゼミナールⅢでは、ゼミナールⅡで得た知識をさらに深掘りして学ぶ。これを通して、本学のカリキュラム・ポリシーである「自ら課題を発見し解決する能力が身に付く。
- これを通して、本学のカリキュラム・ポリシーである「自ら課題を発見し解決する能力を身につけること」を目指す。
- 到達目標
- 地域再生の産業構築事例を通して、地域固有の課題の背景、原因、解決策を総合的に理解する能力が身につくようにする。
- その結果として、様々な現象について、その因果関係を推論する能力を養うことができるようになる。
- 授業内容
- 1週目 イントロダクション（ゼミテーマの概要、ゼミの進め方など）
- 2週目 テキスト「里山資本主義」を理解する（レクチャーとディスカッション）
- 3週目 テキスト「里山資本主義」を理解する（レクチャーとディスカッション）
- 4週目 テキスト「里山資本主義」を理解する（レクチャーとディスカッション）
- 5週目 学生による発表（発表者1）
- 6週目 学生による発表（発表者2）
- 7週目 学生による発表（発表者3）
- 8週目 テキストの事例、または独自に調べた事例を学問的に理解する（レクチャーとディスカッション）
- 9週目 テキストの事例、または独自に調べた事例を学問的に理解する（レクチャーとディスカッション）
- 10週目 テキストの事例、または独自に調べた事例を学問的に理解する（レクチャーとディスカッション）
- 11週目 学生による発表（発表者4）
- 12週目 学生による発表（発表者5）
- 13週目 学生による発表（発表者6）
- 14週目 まとめ1（ディスカッション）
- 15週目 まとめ2（ディスカッション）
- 16週目 学期を通しての総括と講評。ただし、やむを得ず15週までの授業内容を実施できなかった場合は補講授業をおこなう。
- 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間
- ゼミでの報告資料作成やレポートを書くために、週3時間の予習・復習が必要である。
- 成績評価の方法・基準
- 授業参画、プレゼンテーション、レポートなどによる総合評価。
- 履修上の留意点
- 予習は予め提示したテキストの箇所を読み込むことや、発表のための資料作成に2時間を要する。
- 復習はその週に学習した内容をノートにまとめることに1時間を要する。
- 学期の最後にはゼミ論文提出を義務とするので、心得て履修すること。
- 課題に対するフィードバックの方法
- 課題（プレゼンテーションやゼミ論文）に対するフィードバックは当日あるいは翌週に、課題のポイントを解説しながら、発表者や他の学生とディスカッションするなどしておこなう。
- テキスト
- 藻谷浩介『里山資本主義』（角川書店）859円
- このテキストは、特殊講義Ⅲ（農山村再生論A）、特殊講義Ⅳ（農山村再生論B）、観光研究ゼミナールⅡ、Ⅲ、Ⅳと同じものである。
- 参考書
- 藻谷浩介『進化する里山資本主義』（the japan times 出版）1800円
- 内山節『共同体の基礎理論』（農文協）2860円
- 更新日付
- 2022/01/26 03:36